



No.263
2023.7.2

四季報

発行
藤沢探鳥クラブ
代表
藤山 素子
電話 0466-25-1817



キョウジョシギ (2022年5月 東京港野鳥公園) 撮影：水越喜代蔵

<7月例会>

7月16日(日)

朝比奈切通し探鳥会

(坂道あり、10:00以降トイレなし) ※雨天中止
キビタキやホトトギス(鳥と花)、イワタバコ、
ヤマユリの花を訪ねて鎌倉⇄六浦の歴史古道を歩
きましょう。前日大雨の場合は中止。

集合 鎌倉駅東口観光案内所前 9:00 京急バス
4番乗場から金沢八景行き 9:05 発に乗車 泉水橋
下車 (参考 8:33 JR 東海道本線藤沢発高崎行⇒
大船着 8:37、8:46 横須賀線逗子行⇒鎌倉着
8:52)

持ち物 観察用具、弁当、飲み物、敷物、滑らな
い靴、雨具、マスク等

解散 朝比奈バス停付近で 13:30 頃 (13:41 鎌
倉駅行)

担当 藤山 0466-25-1817 田中 0466-27-2384

<8月例会>

夏休み

8月例会は夏休みです。涼しい場所と時間を選
んで、銘々で探鳥をお楽しみください。

探鳥会へのお誘い

記載の行事は、どなたでも申し込み不要でご参
加いただけます。初めての方、非会員の方のご参
加をお待ちしています。

入会のご案内

藤沢探鳥クラブでは皆様のご入会をお待ちして
います。お問い合わせ、お申し込みは最終ペー
ジの連絡先まで。

川名通年探鳥会

5月2日(日) 雨のため中止

6月4日(日) 8:00~10:40 晴

太田 千佳子

大雨洪水警報解除から1日経って晴天に恵まれ、初夏の眩しい光が降り注ぐ中スタートしました。前回より濃くなった緑に隠され、メジロも姿は見えず声ばかり。

境川ではサクランボの実を食べにスズメやムクドリなどが見られ、ツバメ類も飛び交っていました。柏尾川では、なわばりを侵したらしいトビがハシブトガラスに攻撃をうけ、チョウゲンボウは1度だけ姿を見せてくれました。アオサギ、カワセミ、カルガモの雌が抱卵している横で雄が翼をパタパタしていました。カルガモの親子を是非見てみたいですね。谷戸では、大雨の名残で道が川のようになっており、途中までしか行けなかったのですが、ハルジオンにベニシジミが止まっている様子になごみました。

今回も歩きながら小さな草花や果実の名前を教えて頂き、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

見聞きした鳥 シジュウカラ、メジロ、イソヒヨドリ、スズメ、アオサギ、ムクドリ、カワセミ、イワツバメ、ヒメアマツバメ、カワウ、トビ、カルガモ、カワラヒワ、ハシブトガラ

ス、キジバト、ハクセキレイ、チョウゲンボウ、ヒヨドリ、ウグイス、ツバメ(20種)
(外来種) ドバト、ガビチョウ(2種)

参加者 橋本孝、宮本京子、田中正信、加藤健二、藤山素子、太田千佳子、飯島秀子、谷誠一、佐藤武、大石正子、菅谷芳雄、森静子、嶋岡章、青山喜行(14名)

東京港野鳥公園探鳥会

5月21日(日) 10:00~14:00 晴

大石 正子

日向は暑かったものの、時折り涼風を感じる絶好の探鳥日和となりました。

その名に違わず、ここには4つの野鳥観察小屋があります。この日はなじみのコサギ、アオサギなどの他にも、チュウシャクシギ、キョウジョシギなど珍しいシギの仲間に出会うことができました。ガラス張りロビーのあるネイチャーセンターからは干潟の様子がわかります。大型モニターがあり、リアルタイムで遠くの鳥たちが映し出され感激しました。

この公園は本来、1966年ごろから都が流通施設用地として造成した埋立地。年月とともに池や草原ができ、野鳥が集まるようになります。そして1973年ごろから、住民や野鳥の会などによる自然保護運動が起こります。その中心的役割を果たしたのは、芥川賞作家の加藤幸

表紙写真説明 キョウジョシギ 東京港野鳥公園 2022年5月15日撮影

藤沢探鳥クラブ東京港野鳥公園探鳥会、前浜干潟観察デッキからのキョウジョシギです。観察デッキには観察用の窓があり、野鳥たちは警戒することなく近くに来てくれました。

水越 喜代蔵

子さん。彼女の著書「鳥よ、人よ、甦れ 東京港野鳥公園の誕生、そして現在」によってその経緯を垣間見ることができます。



キアシシギ 撮影：嶋岡章

見聞きした鳥 カルガモ、メジロ、カワウ、スズメ、ツバメ、キョウジョシギ、ダイサギ、コサギ、ヒヨドリ、ササゴイ、アオサギ、キアシシギ、バン、チュウシャクシギ、カイツブリ、オオヨシキリ、オナガ、エナガ、ムクドリ、ホシハジロ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、シジュウカラ、カワセミ (24種)

参加者 谷誠一、吉澤真弓、大橋温子、水越喜代蔵、青山喜行、大宅悦子、宮本京子、大石正子、飯島秀子、嶋岡章、城殿博、中村幸男 (12名)

鎌倉広町緑地探鳥会

6月18日(日) 9:50~11:45 曇り
鍋田 里奈

久しぶりの探鳥会、娘と二人で参加しました。梅雨時の晴天で、心地よい風も吹き、探鳥会には相応しい天候。天候と立地のせい、参加者18名という、私の中では、過去一の大人数でした。

緑地に入る手前で、今が見ごろの紫陽花が迎えてくれ、早くもウグイスの声。実に鎌倉の自然らしい始まりに、私はスピリチュアルを感じて、「今日は、心身を癒すつもりで探鳥しよう!」と、勝手に自分のテーマを決めて歩いていくことにしました。

いつも私は、一眼レフカメラを持って鳥を撮影しているのですが、今日は特別に、娘にカメラを預けて撮影を任せることに。普段はいじらせてもらえないカメラに、娘は夢中で鳥を探し、望遠レンズを調整して、一生懸命写真を撮っていました。

メジロに、カラスに、台湾リスに、モンシロチョウに、シオカラトンボ.. 中でもシオカラトンボは、身体が青く、調べてみると、「縁起が良く、幸運のしるし」といったスピリチュアルな意味合いがあるそうです。こんな素晴らしい場所に連れて来てくれた娘と、藤沢探鳥クラブに、感謝感謝です。



シジュウカラ オオシオカラトンボ 撮影：鍋田小百合(小4)

鳥の読み合わせでは、鳥の種類が少なく感じましたが、解散の後、池からカモが2羽、飛び立つのを見ました。探索中は声すら聞こえませんでした。きっと心地よく羽を休めていたのでしょうね。また、次回の参加も楽しみです。

見聞きした鳥 ウグイス、シジュウカラ、メジロ、ハシボソガラス、トビ、ヒヨドリ、ツバメ、スズメ、エナガ、コゲラ (10種)
外来種：コジュケイ、ガビチョウ (2種)

参加者 青山喜行、酒井進、本田英昭、城殿博、下里由香、実野悦子、大山厚子、相原年夫、嶋岡章、加藤健二、森静子、水越喜代蔵、鍋田里奈、鍋田小百合、大橋温子、谷誠一、田中正信、吉澤三郎 (18名)

江の島探鳥会

5月12日(金) 曇りのち晴 8:30~11:30
谷 誠一

海は波もない鏡のようでした。港と島の間の沖ではゴムボートを2隻縦に繋いで、二人の男性が釣りをしている。また、釣り船が岩屋の釣り場で停船をして、釣り人がタコの仕掛けを一斉に海に投げていた。何年振りかでセンダイムシクイの鳴き声を聞きました。若葉が生い茂り見るできません。沖合遙か遠くにユリカモメとウミネコ 60羽の群れを見かけた。岩の上でヒメウが一羽ノンビリ昼寝をしている。カワウの中に若い茶色のオオセグロカモメが混ざっている。狸が2頭今年も来たそうです。8月には子を連れて人前に出てくるでしょう。ハヤブサの子は3羽居るとの事です。どちらも健やかに育ってほしいです。

見聞きした鳥 センダイムシクイ、スズメ、ムクドリ、ハクセキレイ、アオサギ、ヒヨドリ、メジロ、ユリカモメ、ウミネコ、シジュウカラ、トビ、イソヒヨドリ、ハヤブサ、ヒメウ、ウミネコ、オオセグロカモメ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、カワウ、キジバト、ツバメ (21種) 外来種 ガビチョウ、ドバト (2種)

参加者 城殿博、安永明、田中正信、吉澤真弓、中村幸男、水越喜代蔵、高橋和也、板谷

泰宏、大橋温子、嶋岡章、谷誠一 (11名)

6月9日(金) 雨の為中止

遠藤笹窪谷観察会

5月27日(土) 晴れ 9:00~11:50
谷 誠一

今日は快晴で気持ち良い気温でした。遠藤笹窪谷公園では、遊水池にシオカラトンボ、メダカ、アメンボ、水生昆虫が増えている。J:COM テレビが小学生に田植え前の水田で昆虫観察や説明会を開催。網やバケツを持って夢中になっていました。ホオジロだけがヨシや枝先で綺麗な鳴き声を出しています。



ホオジロ 撮影:太田 千佳子

森では、キビタキ、ウグイス、ヤマガラ等の声は聞こえるのですが、森が深く姿は見えません。昨日、ここでホトトギスを見たと言った写真を見せて下さいましたが会えませんでした。丘の農地では、蝶が10頭位の群れで乱舞しながらジグザグに移動しているのを見た。これは雄が一頭の雌を追掛けているのだそうです。

見聞きした鳥 ホオジロ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、スズメ、ムクドリ、キジバト、ハシブトガラス、トビ、ハシボソガラス、ツバメ、カワラヒワ、キビタキ、シジュウカラ、ヤマガラ (16種)

外来種 ガビチョウ (1種)

参加者 浅野牧子、相原年夫、田中正信、大橋温子、宮本京子、吉澤真弓、太田千佳子、谷誠一 (8名)

新林公園の山道を歩く会

5月9日 (火) 晴れ 9:00~13:10

大橋 温子

最近では体調にも影響しそうなほど気温や天候の変化が激しい日が続いていたが、この日は空青く風爽やかな気持ちの良い日となった。先日強い南風が吹き荒れた後でもあり、風に乗ってこの公園に運ばれた夏鳥もいるのでは... と密かに期待しつつ歩き始めた。

ウグイスの囀りを耳に、蕾から花へ、花から若い実へと足早に姿を変えていく植物や、時々羽を休めるヒメアカタテハやコジャノメなどをじっくり観察する。

休憩広場で一息いれていると、丁度目線の

高さでオオタカがカラスに追われているシーンに遭遇。続いて猛禽類三羽が空高く舞う姿が目に入る。一羽はトビ。しかし残りの二羽は？ トビとは異なるのだが距離が遠く細かい所までは判別できない。結局同定は出来ず渡りの季節でもあり渡るタカであろうという結論になった。

クマガイソウ自生地近くのコナラの大木周辺では、樹液を求めてか美しい春型のアカボシゴマダラやサトキマダラヒカゲ、クロアゲハ等の蝶が飛び交っていた。その後杉の谷手前では待望のオオルリの歌声。参加者全員でゆっくり聴くことができた。

最後に寄った小池邸庭の当クラブの柿の木が、今年は多くの花を咲かせているのを見届け秋がとても楽しみになった。

見聞きした鳥 ヒヨドリ、シジュウカラ、ウグイス、メジロ、スズメ、キジバト、ハシブトガラス、ハクセキレイ、カワラヒワ、ムクドリ、アオサギ、トビ、ヤマガラ、イワツバ

情報提供で協力しましょう！ ◇ クリハラリス対策 ◇

すでに探鳥会でおなじみになっているクリハラリス (別名タイワンリス) はペットや動物園での飼育のために輸入され、それが逃げて野生化したものです。日本では1都2府11県で生息が確認されています。特に分布域が広い神奈川県では分布拡大を抑え、封じ込めを行うことが必要です。

○クリハラリスは冬に餌が少ないため、餌が多い夏から秋に出産・子育てをしています。

○クリハラリスは果実や種子などを好みます。また、樹皮を剥いて樹液をなめる為、深刻な農林業被害を引き起こします。また、昆虫 (あり、シロアリ、甲虫、セミ等、カタツムリ類、鳥の卵も利用します)。

○家屋や庭へ侵入するので、ダニやノミなどを介して健康衛生 (感染症等) に問題が生じる可能性があります。

○分布拡大による生態系への様々な影響が起こります。

○捕食者 (アオダイショウ、フクロウ等) が少ないことで分布拡大が懸念されます。

家庭や観光地で給餌は行わないでください。生息状況を集め、生息情報を提供し、捕獲対策に協力して参りましょう。情報提供はインターネット「クリハラリス情報ネット」HP から提供フォームを使用しご記入ください。鳥たちの生息環境を守るためにも！ (上記HP および「はばたき」から一部引用しています)

※クリハラリス情報ネット http://sakaigawa.eco.coocan.jp/kurihara/kuriharalis_TP.html

メ、ツバメ、オオルリ、コゲラ、エナガ、オオタカ、タカ SP (20 種) 外来種 コジユケイ、ガビチョウ、ドバト (3 種)

参加者 橋本孝、田中正信、小林弘子、大橋温子、藤山素子 (5 名)

6 月 13 日 (火) 9:00~12:20 晴れ

加藤 健二

野鳥に興味を持ったのは、自宅の巣箱でシジュウカラが子育てする姿を見て、あんなに小さい身体で本当に健気で賢いな~ってすごく感動したからです。藤沢探鳥クラブには今年の 1 月 8 日から参加させていただいていますが、会の皆さんと一緒に教えてもらえるので野鳥を見ることができると、やっ

と分かりました。
本日は梅雨の合間の晴天に恵まれ、エナガとメジロが飛びかう歓迎でスタートし、コゲラ達に出会い、ヤマユリが咲き誇る良い香りの中の野鳥観察会でした。毎月見続けている変形菌マンジュウドロホコリは白くなる 2 回目?の変身中のようでした。

今日もいっぱい野鳥の姿を観察でき、楽しかったです。これからも、野鳥観察会に積極的に参加させていただき、色々な野鳥を見て楽しみたいと思っています。

見聞きした鳥 メジロ、トビ、エナガ、ウグイス、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ムクドリ、コゲラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、カルガモ、カワラヒワ、キジバト、ヤマガラ (15 種)

外来種 ガビチョウ、コジユケイ (2 種)

参加者 加藤健二、田中正信、太田千佳子、大橋温子、徳江祐子、藤山素子 (6 名)

木もれびの森探鳥会 初夏編

5 月 28 日 (日) 9:30~14:20 晴れ

三宅 泉

5 月最後の日曜日、晴れ。来週からは当分の間天気の良い週末を期待できないこともあり、貴重な一日である。この時期のこもれびの森は頭上も足元も鬱蒼とした緑の世界で、春とは随分変わっていたはずである。小径は薄暗く、万寿の実に気を取られていると目の前の木にシマヘビが張り付いているのに声を上げて驚いてしまった。その後少し緊張感をもって奥に進んでいったところ、どこからともなく美しい複雑なさえずりが響いて来て、キビタキだと教えて頂いた。しばらくの間鳴き声は止まず、頭上を探しつづけたものの結局みつからなかった。ただキビタキの声を聴くことは今日の目的の一つだったので、夏の始まりの声としてしっかりと堪能できたと思う。コゲラはあちこちで見つかり、ヒヨドリやシジュウカラなども混ざって、一時は大合唱になっていた。一度アオゲラの声も聴くことができた。ただ休憩をとるところからなぜか森は静かになり、その後はほとんど新たな種



ナナフシ 撮影: 三宅泉

類の鳥はみかけなかった。そのかわり、足元の野草や様々な種類の蝶、ナナフシやトカゲなどの生き物の発見を楽しんだ。特にこれまであまり関心のなかった蝶の世界が思いがけず魅力に満ちたものだと思つたのは大変貴重な経験だつたと思う。見る事ができた鳥は少なかつたものの十分満足の日だつた。

見聞きした鳥 ヒヨドリ、ツバメ、ムクドリ、ハシブトガラス、コゲラ、シジュウカ

ラ、ハシボソガラス、キビタキ、メジロ、アオゲラ、ヤマガラ、ハクセキレイ、スズメ、キジバト (14種) 外来種 コジュケイ、ドバト (2種)

見られたチョウ類 ルリシジミ、スジグロシロチョウ、モンシロチョウ、アカボシゴマダラ、テングチョウ、イチモンジチョウ、ダイミョウセセリ、クロアゲハ、ナミアゲハ (9種)

四季報への写真投稿基準

1. 四季報への写真投稿について、下記の①～③に分けて基準を示す。
① 表紙 ② 探鳥会の感想文に添付 ③ 会員の声等、その他の投稿文に添付
2. 上記①～③へ投稿出来る写真
① 原則として神奈川県内で撮影した野鳥の写真で形態や生態の特長、季節感等を表しているもの。
② 当クラブの探鳥会のハイライト、トピックス等を撮影した野鳥はじめ植物、動物、探鳥会風景。
③ 投稿文を補完説明するため、投稿者の意図を表すもの。
3. 投稿出来る者
①③ 会員
② 当クラブの探鳥会への参加者
4. 撮影データ
①③ 投稿写真の掲載に際して、野鳥名、撮影者名、撮影日、撮影場所(原則として市区町村名)を記載する。
② 撮影日、撮影場所は自明のため、記載を要しない。
5. 説明文
① 写真に説明文を添付して投稿する。
②③ 掲載に関しては簡単な説明文を求めることがある。
6. 注意事項
・ 珍鳥や希少種で、観察者の集中による生息や繁殖等への悪影響、周辺住民への迷惑等が予想され、撮影場所が特定出来る写真は投稿出来ない。ただし、迷鳥等の一時的に観察された種で、既に移動して観察者の集中が惹起されない時期になったと判断されるものを除く。
・ 個人や住宅等の個人情報が写り込んだ写真は投稿出来ない。
・ 野鳥の撮影マナー(日本野鳥の会のホームページ参照)を守って撮影する。
7. その他
・ 限られた紙面の都合上、投稿写真を掲載出来ないことがある。また、多くの撮影者の写真を偏らず掲載するため、写真を選択することがある。
・ 投稿した写真は、当クラブの四季報、及びホームページへの掲載に同意されたものとする。
・ 写真に代えてイラストを投稿することも出来る。この場合は写真をイラストに、撮影を作成に読み替える。

以上

参加者 三宅泉、藤山素子、城殿博、谷誠一、
小林弘子、田中正信 (6名)

運営委員会報告

下記の議題について討議されました。

5月7日 四季報、行事予定、アンケート中間結果、投稿写真基準、会員写真展、通称マルガモ取り扱い、等

6月5日 四季報、行事予定、会費納入状況、アンケート結果検討、投稿写真基準、等

行事等案内

川名通年探鳥会

毎月第一日曜日 ※雨天中止

8月6日 (担当: 橋本)

9月3日 (担当: 藤山)

集合 8:00 JR 藤沢駅南口名店ビル前地下
道入り口付近

江の島探鳥会

毎月第2金曜日 ※雨天中止

7月14日 (金) 8月は休みます

集合 8:30 解散 12:00頃

集合場所 江の島弁天橋を渡った左の公園
藤棚の下

連絡先 谷 0466-34-0381

遠藤笹窪谷観察会

7月22日 (土) 9:00~12:00

集合 9:00 ※雨天中止

集合場所 慶應大学バス停

連絡先 谷 0466-34-0381

新林公園の山道を歩く会

毎月第2火曜日 ※雨天中止

7月11日 (火)・8月8日 (火)

集合 9:00 新林公園パーゴラの下

解散 12:00頃 同上

連絡先 橋本孝 0467-85-6077

☆「四季報」に関するアンケートへのご協力、ありがとうございました

会員のみなさまからいただいたご意見をもとに、よりよい会報作りに励んでまいります。まとめましたアンケート結果は、別紙にてご報告させていただきます。

☆ 会費納入およびご寄付をいただきありがとうございました

失礼ではございますが、この紙上をお借りしてお礼を申し上げます。

年会費について

年会費 (4月~3月) は2,400円です。

会費振込先; 郵便為替口座番号

00230-2-38355 藤沢探鳥クラブ

郵便局以外の銀行から振り込む場合は、

ゆうちょ銀行029店 当座0038355

フジサワタンチョウクラブ

なお、探鳥会時に現金払いでも受け付けています。

藤沢探鳥クラブ連絡先等

藤山 素子 0466-25-1817

HP アドレス; <https://fujsbwc.jimdofree.com/>



ホームページのQRコードです。スマホなどから読み取ってご覧ください。

写真の投稿基準を定めました(p7)。皆様
の投稿をお待ちしています。投稿は下記へ

田中 正信 (原稿・添付写真)

〒252-081 藤沢市鶴沼藤が谷 4-13-26

e-mail; tanamasa@theia.ocn.ne.jp

電話/FAX 0466-27-2384

青山 喜行 (表紙写真・説明文)

〒252-0816 藤沢市遠藤 930-5

e-mail: aoyama-y@jcom.home.ne.jp